

令和5年度  
いじめ根絶標語コンクール作品  
勇気をもって助けたい  
あなたの笑顔を守るため  
川之石小 5年 酒井 妃菜

# さるびあ通信

令和6年12月発行  
八幡浜いじめ対策委員会  
事務局



## 189 (いちはやく) 気づいてあげて そのサイン

「令和6年度オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語最優秀作品



### 第2回八幡浜市いじめ対策委員会報告

11月28日(木)、八幡浜市役所保内庁舎において、第2回八幡浜市いじめ対策委員会を開催しました。今年度前期の子どもたちの様子や各ブロックの活動について、情報交換しました。また、事務局から「令和6年度学校生活・電子機器等に関するアンケート調査結果」について報告した後、令和7年度からのいじめ対策委員会の組織の在り方について、各ブロックの意見も発表していただき、今後の方針について協議しました。下の内容は、委員から出された意見の一部です。なお、アンケート結果につきましては、裏面に載せています。

- 公民館の防災フェスタに多くの住民が参加し、住民間の共同と防災意識を高める充実した会となった。地域行事への参加では、愛宕中学校が地方祭に牛鬼巡行をしてくれ、祭りを盛り上げてくれ有り難かった。
- ブロックいじめ対策委員会の情報交換の中で、「ニュース等で盗撮などの事案をよく耳にするが、学校内でのスマホの管理等はどうなっているのか」という質問があった。また、学校への防犯カメラの設置について検討してはという意見もあった。
- 子どもたちの挨拶について個人差が見られるとのご意見をいただいた。挨拶に関して、どうしても休み明けの挨拶ができていく状況にある。互いに気持ちの良い挨拶ができるよう地域全体で取り組んでいきたい。
- 喜須来地区のお祭りでは、児童がたくさん参加し、多くの感動を得たと言われていた。小学校の社会科のテストに、地域のお祭りの云われなどが問題として出題されていた。子どもたちの地域文化に対する関心や意欲が高まり、故郷を愛する心の育成につながるものであると感じた。

#### 令和7年度からのいじめ対策委員会の組織の在り方について

##### 【愛宕ブロック】

ブロック別協議は、各団体等からの報告の後、意見交換を行うのであるが、活発な意見はあまり出ず、会議が形骸化しているという意見が多かった。ブロックごとの対策委員会の廃止については、賛成という意見でまとまった。大きな事案があったときに、市内全体に協議した内容が全体に伝わるような体制にしてほしいという意見もあった。

##### 【八代ブロック】

学校のいじめ対策委員会の活動状況は、充実しているが、学校には多くの委員会があり、委員が重なっている方も多く、各会議ともやや形骸化しているように思われる等の意見が出た。ブロック別協議の廃止、いじめ対策委員会の名称変更ともに賛成の意見が多かった。

##### 【松柏ブロック】

ブロックいじめ対策委員会の廃止については、賛成であるが、松柏ブロックで行ってきた三部会(学習部会、広報部会、事業部会)での活動は、小学校を事務局として今後も継続していきたいということになった。ただ、中学生をどのようにして活動に巻き込んで行くかが今後の課題である。

##### 【保内ブロック】

ブロックいじめ対策委員会については、廃止の方向、いじめ対策委員会の名称の変更についても賛成意見が多かった。いじめ問題をはじめ、不登校や学校生活、校外生活の課題など、多くの教育課題に対応するための協議会の色を強くできたらよいという意見でまとまった。

「いじめ対策委員会のブロック別協議の廃止」「市いじめ対策委員会の名称の変更」とともに賛成意見でまとまりました。各委員から、いじめ対策委員会の体制や名称は変わっても、この委員会が設置された原点を忘れず、いじめ問題を中心に現在の多くの教育課題に対応できる協議会を目指すことが大切であるとの意見が多く聞かれました。具体的な協議会の体制案については、2月27日(木)の第3回市いじめ対策委員会事務局から提案する予定です。

### いじめ認知・不登校児童生徒の状況

文部科学省は、令和6年10月31日「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果を公表しました。令和5年度における小中学生の不登校数等は次のようになっています。

- 全国小中学校の不登校児童生徒数：34万6482人  
前年度から4万7434人(15.9%)の大幅増(過去最多)  
小学校：13万370人前年度比2万5258人(24.0%)増  
中学校：21万6112人前年度比2万2176人(11.4%)増

- 児童生徒1000人あたりの不登校児童生徒数  
小学校：21.4人(おおよそ1学級に0.75 4学級に3人在籍)  
中学校：67.1人(おおよそ1学級に2.68 2学級に5人在籍)  
八幡浜市の児童生徒1000人当たりの不登校数は、小学校で5.0人(前年度5.8人)、中学校で37.1人(前年度34.2人)となっており、全国平均と比べると低い状況であり、前年度とあまり変わらない状況が続いています。

- いじめの認知件数  
全国小中学校のいじめの認知件数：71万1633件  
(前年度比7.3%増)



- 児童生徒1000人当たりの認知件数全国平均：57.9件  
最多：117.7件(山形県) 最少：17.9件(長崎県)

愛媛県は、18.0件で全国児童生徒1000人当たりのいじめの認知件数において、全国で2番目に少ない結果でした。前年度比25.0%の増加となっています。八幡浜市は、4.3件と少ない状況でした。都道府県によって認知の温度差はあると思われます。今後も学校及び関係者の皆さんが、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に取り組んでいただきますようお願いいたします。今後も、各学校において充実した教育活動が推進されることを願っています。

### ひとりで悩んでいませんか？

お気軽にご相談ください。

- ☆ 電話相談・来室相談(八幡浜市教育委員会教育支援室)  
☎ 0894-21-6864 月~金8:30~17:00
- ☆ 心の悩み110番(八幡浜市教育委員会教育支援室)  
☎ 0120-805-415 月~金8:30~17:00
- ☆ 心の悩み相談(八幡浜市保健センター成人保健係)  
☎ 0894-24-6626 月~金9:00~17:00
- ☆ 警察安全相談(八幡浜警察署)  
☎ 0894-22-0110 24時間受付
- ☆ いじめ相談ダイヤル24(愛媛県教育委員会)  
☎ 0120-0-78310 24時間受付
- ☆ こどもの人権110番(法務局)  
☎ 0120-007-110 月~金8:30~17:15
- ☆ 18歳までのチャイルドライン(チャイルドライン支援センター)  
☎ 0120-99-7777 まいにち16:00~21:00
- ☆ 児童相談所全国共通ダイヤル(厚生労働省)  
☎ 189(いちはやく)児童虐待通報電話24時間受付
- ☆ やわたはま元気ノート(児童生徒のタブレット端末を利用したセルフチェックとSOSなんでも相談の実施)

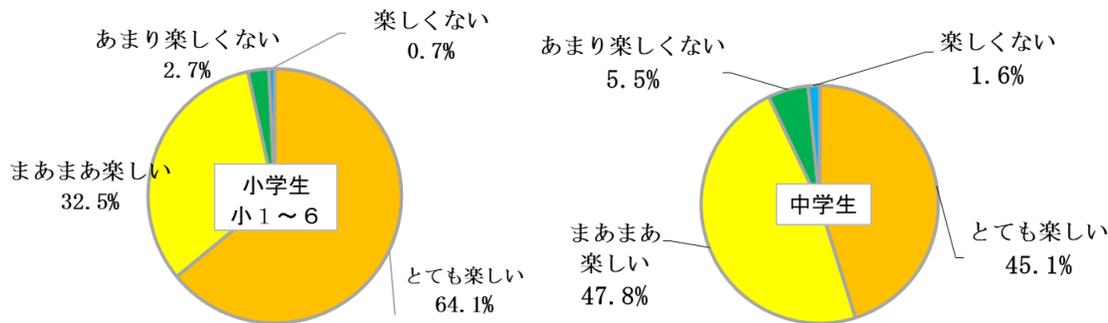


# 令和6年度 学校生活・いじめ・電子機器等に関するアンケート 結果の概要（全児童生徒・全保護者・全教職員）

八幡浜市いじめ対策委員会では、児童生徒が充実した学校生活を送ることができるようにするための実態把握として、学校生活やいじめ対策、電子機器等に関するアンケートを実施しました。児童生徒、保護者、教職員ともに、インターネットを活用した調査としました。今後の健全育成の一層の推進や家庭教育の向上のため、参考にさせていただきますようお願いいたします。

- 1 調査対象(括弧内は、回答率)
- 全児童 1,127名(96.5%)
  - 全生徒 679名(94.0%)
  - 全保護者 1,076名(93.9%)
  - 全教職員 212名(97.6%)
- 2 実施時期 令和6年9月

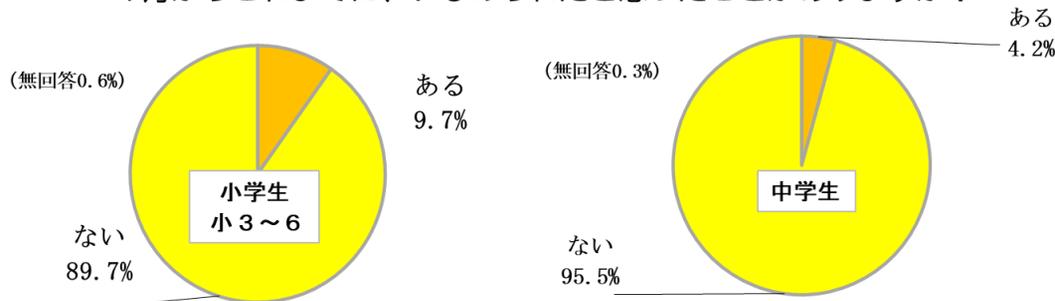
## 学校生活は楽しいですか？



コロナ禍が明け、通常の学校生活となり1年以上が経過した。今年度も90%を超える児童生徒が、学校生活が「とても楽しい・まあまあ楽しい」と回答した。小学校では「とても楽しい」と回答した児童が約3%増加したが、中学校では、約5%減少している。

昨年度と比較すると、「学校生活が楽しい」と回答した小・中学生の割合は小学校では増加、中学校では若干の減少がみられる。(R5：小学生94%、中学生94.2%)

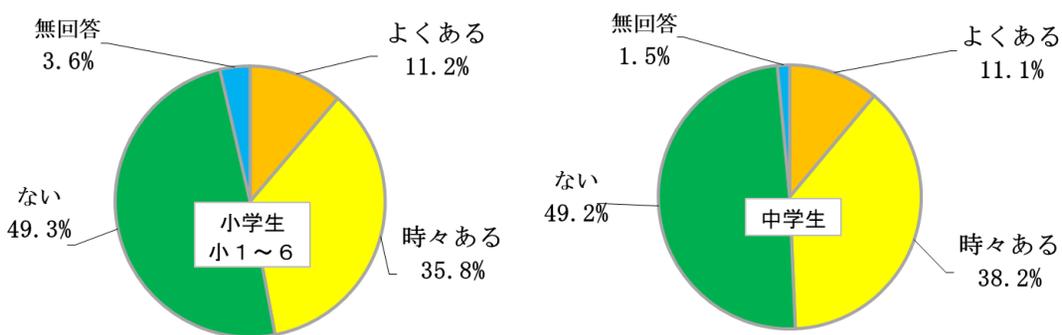
## 4月からこれまでに、いじめられたと思ったことがありますか？



「いじめられたと思ったことがある」と回答した児童生徒の割合は、小学校が9.7%、中学校が4.2%であった。昨年度と比較すると、小学校は5.5%減少した。

学年別で「いじめられたことがある」という回答の割合をみると、小学校では3年生(17%)、中学校では1年生(7.1%)が多い。小学校ではギャングエイジといわれる学年、中学校では新たな交友関係が作られる学年で、割合が高くなっている。留意したい点である。中学校1年生に、増加の傾向がみられる。要注意である。(R4：5.4% ⇒ R5：5.6%)

## 電子機器を使っていて、やめられなくなることがある？

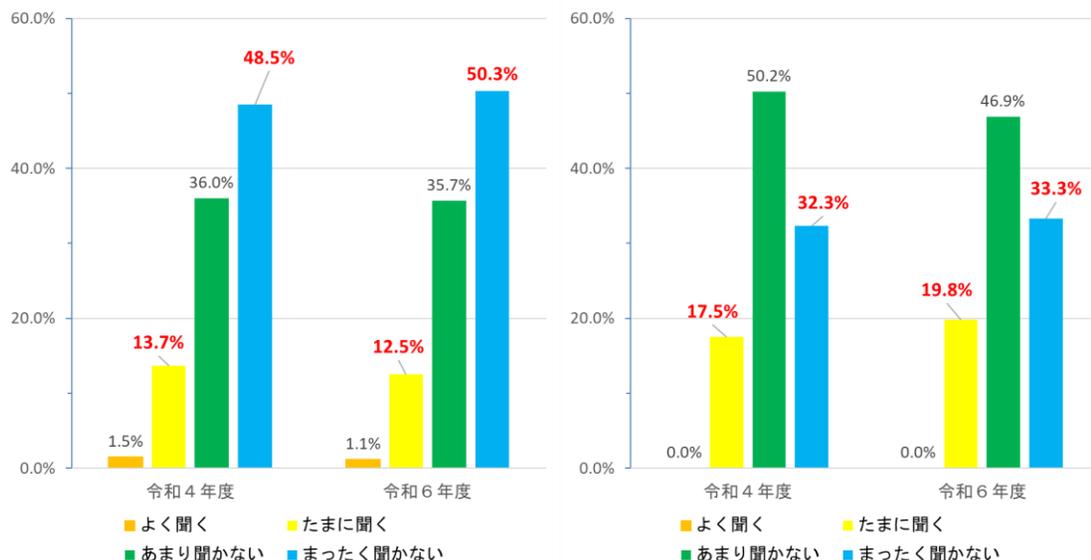


「電子機器を使っていて、やめられなくなる」ことが、「よくある」と回答した小学生は11.2%であった。昨年度は半減したが、その状態を維持することができている。(R4：23.8% ⇒ R5：12.6%)セルフコントロールが難しい小学生については、保護者がしっかりと管理する必要がある。なお、中学生では、「よくある」と回答した生徒が11.1%であり、横這いの状態であった。(R4：7.6% ⇒ R5：10.9%)

## いじめに関するアンケート(保護者・教職員)

いじめに関する話を聞くことがある？  
<保護者>

いじめに関する話を聞くことがある？  
<教職員>



いじめに関する話を子どもから「全く聞かない」と回答した保護者は、50.3%であった。前回(令和4年度)と比べると、大きな変化はなかった。この傾向は、教職員においても同様であった。

保護者と教職員を比較すると、教職員の方が、いじめに関する話を子どもから「聞く」機会が多い傾向にある。「全く聞かない」割合…保護者：50.3%、教職員：33.3%

保護者、教職員ともいじめに関する感度が上がり、児童生徒との話す機会が増えてきていることの表れであると考えられる。

